



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 尾留川 一仁 TEL 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,643	24.4	1,002	118.2	1,038	161.0	730	125.4
2021年3月期第3四半期	10,967	△11.7	459	△31.2	398	△35.4	323	△0.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 846百万円 (143.3%) 2021年3月期第3四半期 347百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	130.06	126.57
2021年3月期第3四半期	57.98	56.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	20,274	9,395	45.6	1,640.93
2021年3月期	19,739	8,630	43.0	1,519.91

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,251百万円 2021年3月期 8,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	11.8	1,100	83.5	1,100	111.7	700	90.4	124.95

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	6,006,373株	2021年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	368,381株	2021年3月期	415,489株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,612,961株	2021年3月期3Q	5,586,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間における世界及び日本の経済状況は、新型コロナウイルスの新たな変異株が出現したことで感染の再拡大による下振れリスクが懸念されましたが、ワクチン接種が進む中、経済活動の制限が緩和されたことで持ち直しの動きが見られました。

物流業界におきましては、国際貨物は米中対立や海上輸送の混乱の長期化などの下押し要因はあったものの、海上輸送から航空輸送へのシフトが継続したことで、輸送量は好調に推移しました。国内貨物は個人消費の持ち直しの動きが継続していることを背景に、消費関連貨物及び生産関連貨物において輸送量の回復傾向が続きました。

このような事業環境の中、当グループは、2021年5月に策定した2ヵ年の中期経営計画（2022年3月期～2023年3月期）の達成に向けて、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、前年大幅に減少していた工作機械の取扱いが増加したことに加え、世界的な半導体の需要急増を背景に、半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いが好調に推移いたしました。また、新型コロナウイルスの影響により減少していた海外の生産活動が持ち直しの動きを見せたことを受け、国際貨物の取扱いが好調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

なお、投資有価証券売却益として特別利益13百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高136億43百万円（前年同期比24.4%増）、営業利益10億2百万円（前年同期比118.2%増）、経常利益10億38百万円（前年同期比161.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億30百万円（前年同期比125.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

前年大幅に減少していた工作機械の取扱いが増加したことに加え、世界的な半導体の需要急増を背景に、半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いが好調に推移いたしました。また、新型コロナウイルスの影響により減少していた海外の生産活動が持ち直しの動きを見せたことを受け、国際貨物の取扱いが好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高98億73百万円（前年同期比32.4%増）、セグメント利益12億17百万円（前年同期比72.9%増）となりました。

② 運輸事業部門

前年大幅に取扱いが減少していた工作機械が増加したことに加え、小型精密機器など全般的に製品の取扱いが堅調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高18億20百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント利益1億51百万円（前年同期比106.8%増）となりました。

③ 倉庫事業部門

世界的な半導体の需要急増を背景に、半導体製造装置の取扱いが好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高17億77百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益4億2百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルの空室は埋まりつつありますが、フリーレント期間を設定していることにより、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億72百万円（前年同期比16.8%減）、セグメント利益43百万円（前年同期比48.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産202億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5億34百万円増加いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、67億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少2億2百万円、受取手形及び売掛金の増加3億19百万円、原材料及び貯蔵品の増加71百万円によるものであります。

固定資産につきましては、135億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少89百万円、土地の増加4億72百万円、リース資産の減少1億82百万円、無形固定資産において、ソフトウェア仮勘定の増加59百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加8百万円、繰延税金資産の減少1億15百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、108億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、54億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加52百万円、短期借入金の増加3億5百万円、未払法人税等の減少1億60百万円、賞与引当金の減少2億46百万円及び災害損失引当金の減少24百万円によるものであります。

固定負債につきましては、54億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円減少いたしました。これは主に、リース債務の減少2億8百万円、退職給付に係る負債の減少16百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、93億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億64百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加6億18百万円、その他有価証券評価差額金の増加19百万円及び為替換算調整勘定の増加65百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.0%から45.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年10月29日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,861,819	2,659,179
受取手形及び売掛金	3,171,777	3,491,506
原材料及び貯蔵品	175,221	246,454
その他	193,842	351,986
貸倒引当金	△4,100	△4,900
流動資産合計	6,398,560	6,744,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,408,721	7,318,874
機械装置及び運搬具 (純額)	412,618	408,733
土地	2,355,879	2,828,628
リース資産 (純額)	1,234,053	1,051,730
建設仮勘定	9,100	—
その他 (純額)	37,957	43,785
有形固定資産合計	11,458,329	11,651,751
無形固定資産		
ソフトウェア	22,967	41,435
ソフトウェア仮勘定	4,800	64,300
その他	551	449
無形固定資産合計	28,319	106,184
投資その他の資産		
投資有価証券	494,596	503,327
繰延税金資産	730,940	615,856
その他	635,351	659,205
貸倒引当金	△6,800	△6,495
投資その他の資産合計	1,854,087	1,771,895
固定資産合計	13,340,736	13,529,831
資産合計	19,739,297	20,274,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,505	693,001
短期借入金	2,910,230	3,215,419
リース債務	230,306	249,724
未払法人税等	235,375	75,374
賞与引当金	413,010	166,756
災害損失引当金	24,400	—
その他	985,542	1,019,907
流動負債合計	5,439,370	5,420,182
固定負債		
長期借入金	3,186,374	3,198,033
リース債務	952,373	744,128
退職給付に係る負債	839,587	823,241
資産除去債務	458,388	469,454
デリバティブ債務	29,796	26,637
その他	202,678	197,011
固定負債合計	5,669,198	5,458,506
負債合計	11,108,568	10,878,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,451,719
利益剰余金	3,665,596	4,283,798
自己株式	△204,542	△181,244
株主資本合計	8,426,047	9,078,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,737	201,574
繰延ヘッジ損益	△20,673	△10,941
為替換算調整勘定	△63,223	2,176
退職給付に係る調整累計額	△26,251	△19,415
その他の包括利益累計額合計	71,589	173,394
新株予約権	55,829	52,171
非支配株主持分	77,261	91,663
純資産合計	8,630,728	9,395,370
負債純資産合計	19,739,297	20,274,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	10,967,116	13,643,787
売上原価	8,599,265	10,649,446
売上総利益	2,367,851	2,994,341
販売費及び一般管理費		
販売費	857,619	897,195
一般管理費	1,051,013	1,095,020
販売費及び一般管理費合計	1,908,632	1,992,215
営業利益	459,218	1,002,125
営業外収益		
受取利息	596	287
受取配当金	9,675	11,437
受取保険金	6,195	5,000
為替差益	—	48,768
助成金収入	10,394	38,849
その他	8,960	8,157
営業外収益合計	35,823	112,500
営業外費用		
支払利息	71,727	59,846
支払手数料	1,520	2,260
デリバティブ評価損	—	10,867
為替差損	23,719	—
その他	17	2,681
営業外費用合計	96,985	75,654
経常利益	398,056	1,038,971
特別利益		
固定資産売却益	1,199	—
投資有価証券売却益	—	13,472
災害保険金収入	178,515	—
災害損失引当金戻入額	4,739	—
特別利益合計	184,454	13,472
特別損失		
投資有価証券評価損	16,829	—
災害による損失	6,576	—
特別退職金	40,129	—
特別損失合計	63,534	—
税金等調整前四半期純利益	518,976	1,052,443
法人税、住民税及び事業税	158,782	204,525
法人税等調整額	58,753	104,473
法人税等合計	217,535	308,999
四半期純利益	301,441	743,444
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,447	13,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	323,888	730,020

四半期連結包括利益計算書
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益	301,441	743,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,748	20,814
繰延ヘッジ損益	10,758	9,731
為替換算調整勘定	△24,066	65,400
退職給付に係る調整額	6,900	6,836
その他の包括利益合計	46,340	102,782
四半期包括利益	347,781	846,227
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,447	831,825
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,666	14,401

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,458,726	1,538,675	1,762,464	207,250	10,967,116	10,967,116
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,736	—	—	2,736	2,736
計	7,458,726	1,541,411	1,762,464	207,250	10,969,852	10,969,852
セグメント利益	703,859	73,187	389,088	84,680	1,250,816	1,250,816

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,250,816
セグメント間取引消去	225
全社費用（注）	△791,823
四半期連結損益計算書の営業利益	459,218

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,873,130	1,820,475	1,777,839	172,342	13,643,787	13,643,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,311	—	—	3,311	3,311
計	9,873,130	1,823,786	1,777,839	172,342	13,647,098	13,647,098
セグメント利益	1,217,245	151,320	402,388	43,423	1,814,377	1,814,377

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,814,377
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△812,251
四半期連結損益計算書の営業利益	1,002,125

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。